

2024年4月2日

手つかずの海を手塩にかけた海へ 沿岸海洋生物資源の回復のために「潮だまり財団」を設立

荒廃してしまった沿岸海洋生物資源の回復を目的として「潮だまり財団」を設立いたしました。海藻が繁殖し生物がいきいきと棲む豊饒な沿岸海洋の復活を目指して対策を立案・実践し、そのための研究をサポートします。



産業革命以降、経済的合理性のために行われた沿岸地域の開発により、そこに棲む生物の多様性や豊饒性は失われてしまいました。さまざまな原因が考えられますが、それに対して現状を“自然のまま”にしておいては、人の手で荒廃させてしまった生物資源の回復は望めません。

「潮だまり財団」では、この沿岸生物資源の復活に向けて、手つかずにすることなく手塩にかけて回復のための対策を講じます。広く国内外から研究者や自治体、企業などと連携して最善かつ効果的な手法・計画を立案・実践し、そのための研究も積極的にサポートいたします。

スローガンは、Hug the ocean。愛おしい海洋をしっかりとハグするように、深い愛情と大いなる熱量をもって進んで参ります。

■財団名に込めた意味

満潮時に海水面に没し、干潮時に顔を出す潮だまりには海藻が生え多様な生物がいきいきと棲む。豊饒な海のシンボルである潮だまりに沿岸海洋生物の回復への想いを託しました。

■ロゴデザインに込めた意味

多様な生態系を内包し豊饒な海の象徴である潮だまりは、刻々と姿を変えスケールを変化させる。ロゴデザインにおいて潮だまりのダイナミズムとスケールを象徴するデザインを目指しました。



■財団概要

財 団 名：一般財団法人 潮だまり財団

所 在 地：東京都渋谷区恵比寿4-20-4
恵比寿ガーデンプレイス Portal Point FD22

代表理事：川口 晋

理 事：篠澤 裕介／高倉 葉太

設 立：2024年4月

事業内容：

- 吟味選定された沿岸海域に対する構造変更・造作などを伴う沿岸海洋生物資源の回復のための効果的かつ具体的方法(潮だまりメソッド)を探求し考案する。
- 各種研究を行う。

問い合わせ先

右記の潮だまり財団の公式サイトからお問い合わせください。ご意見・ご協力・研究支援の依頼など、幅広くお待ちしております。

潮だまり財団公式サイト

<https://shiodamari.or.jp/>

スマートフォンはこちらから →

